



全自交『中道改革連合』を支持。

— 第 51 回衆議院議員総選挙 対処方針決定 —

全自交労連は 1 月 20 日(火)、第 2 回中央執行委員会を開催し来るべき第 51 回衆議院議員総選挙での対処方針として、立憲民主党と公明党の結集による新党『中道改革連合』への支持を決定した。

通常国会冒頭での衆議院解散を表明し、国民生活を守るための物価高対策よりも党利党略を優先した自民・維新政権の判断は許しがたい。

まさに大儀なき解散・総選挙である。

本来、国政選挙とは現政権に対する国民による審判を示すことが目的であり、特に衆議院総選挙は“政権選択選挙”と位置づけられている。

だとすれば自民・維新に代わって政権を担える対立軸、国民にとって別の政権選択肢が必要なのだ。

今回、立憲民主党と公明党は『中道』の理念のもとに結集し、自民・維新に代わって政権を担い、生活者ファーストの政策実現を目指すための新党『中道改革連合』を結成した。

政権交代を目指す唯一の対立軸である。

いたずらに対立・分断を煽り、国家や権力に国民を従わせる政治から「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」を掲げる『中道改革連合』による政権交代を目指すことが、全自交の方針である“全ての人が平和で安全に自由に生きることができる社会の実現”につながるのだ。

全自交労連は、この選挙において自民・維新政権に終止符を打ち、『中道改革連合』の勝利に向けて全国の仲間が一丸となって闘う。